

2012年度第1回女性学講演会開催のお知らせ

身体能力の性差再考

—スポーツ・パフォーマンスを中心に—

日時：2012年9月15日（土）

午後1時30分～午後3時30分

場所：ドーンセンター 5階セミナー室（2）

1時30分～3時

講演：飯田貴子 帝塚山学院大学教授

男性の男性による男性のための文化として発展してきた近代スポーツが、男女別を実施されているのは「平等性」原則に基づくものなのか？それとも、性別二元制を堅持するためなのか？

本講演では、まずスポーツ界において普遍的とみなされている「性別」に着目し、どのようにして男女の振り分けが行われてきたかを概観する。ここでは、1960年代に始まった性別確認検査の導入、2000年シドニー五輪で中止された性染色体による検査の曖昧さ、2004年アテネ大会において適用された性別変更後の参加承認、2009年世界陸上競技選手権大会におけるセメンヤ選手の性別疑惑問題に端を発した高アンドロゲン女性選手への対応について取り上げる。

そして最後に、スポーツパフォーマンスにおける性差を吟味する場合の留意点について、スポーツを構成する体力要素、スポーツ・パフォーマンスを評価する指標について、ジェンダーの視座から考える。

3時～3時30分

講演者との質疑応答

コーディネーター：熊安貴美江（女性学研究センター）

対象・定員：本学学生・院生・教職員および一般府民 50名

参加費：資料代 500円（本学学生・院生・教職員は無料）

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記してEメールまたはFAXでお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申込先：大阪府立大学女性学研究センター

Eメール：joseigaku@gmail.com FAX：072-254-9947

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問合せ先：大阪府立大学女性学研究センター 〒599-8531 堺市中区学園町1-1 TEL：072-254-9948

会場：ドーンセンター（交通アクセスは裏面をご参照ください。）